

北町会館



発電機やガス窯を使って「おにぎらず」や「味噌汁」を作りました

東京都



相澤教頭は「年々、ブース来訪者が増えており、道外からの留学に手ごたえを感じた」と話しました



上湧別庁舎応接室



この協定はDCMニコットによる防災協定として道内で9例目、オホーツク管内では初めての取り組みです

8/23

北町に住むみんなで考える  
北町防災研修会

北町自治会、北町自治会防災防犯部、北町シニアクラブの共催で「防災研修会」が行われ、町民46人が参加しました。

研修会は講話・炊き出し演習・避難所での食事の模擬体験の3部構成で実施。電気が使えない状況で避難してきた場合を想定した炊き出し演習や、町が災害備蓄している食料の実食も行いました。参加者は、何日間も備蓄食料で過ごす大変さにも気付くことができ、各家庭での備蓄や災害対策がいかに重要か体験できた様子でした。

8/23・24

昨年比2.6倍の来訪者

湧別高校が東京で「地域みらい留学」出展

湧別高校が、「地域みらい留学高校進学フェスin東京」にブースを出展し、生徒の募集活動を行いました。東京をはじめ関東圏などから多くの中学生、保護者が詰めかけました。

湧別高校は一昨年から連続して3回目の出展となります。

両日で昨年比2.6倍となる40組の中学生、保護者がブースに立ち寄り、教育カリキュラムやクラブ活動、新築の学生寮について熱心に耳を傾けていました。

8/25

福祉の充実のために  
幸栄商事が福祉用具を寄贈

（株）幸栄商事（加藤良幸代表取締役）が湧別福祉会の施設を訪問し、社会福祉用具を寄贈されました。

これは、福祉の充実に役立ててもらおうと毎年行っているもので、湧別オホーツク園に車椅子、湧愛園に介護用クッションが寄贈されました。

湧別福祉会は「毎年、温かい心遣いに感謝しています。入所者のために大切に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べていました。

9/1

湧別町が管内初  
DCMニコットと防災協定締結

9月1日「防災の日」にあたり、町内に店舗を持つDCMニコット（株）と災害時における応急生活物資供給の協力に関する協定調印式を締結しました。

調印式には同社の和泉代表取締役をはじめとする関係者が出席し、和泉代表と刈田町長がそれぞれ協定書に署名を交わしました。今回の協定により、災害発生時に必要とされる食料品、医療用品、寝具、衣料、日用品などを優先的に調達・供給する体制が構築されました。

9/  
4

## 思いが詰まったひまわり畠 上芭露地区に咲く

9月上旬、上芭露地区ではひまわりが満開を迎え、道を走るドライバーの目を楽しませています。

このひまわりは空き地となり雑草が茂っていた上芭露中部（道道遠軽芭露線沿い、上芭露郵便局周辺）において、環境整備の一環として上芭露整備会（会長 中川藤男さん）が2007年から、みんなに楽しんでもらいたいという思いで毎年植えています。陽光を浴びながら満開に咲き誇るひまわりの美しさは、上芭露の夏を彩る風物詩となっています。

上芭露地区



この記事は職場体験実習で役場を訪れた湧別高校2年保科龍誠さんが作成しました

9/  
9

## 地域を想う温かい支援 ふるさと納税寄附金贈呈式

湧別町へのふるさと応援寄附金および企業版ふるさと納税寄附金贈呈式が行われ、全国および海外で幅広い事業を展開するジーライオングループの創業者である田畠利彦さんから900万円のご寄附と、（株）ジーライオンの菊地秀武代表取締役社長から100万円のご寄附をいただきました。

贈呈式には、ジーライオングループを代表して湧別小型運送㈱代表取締役の福原裕二さん、専務取締役である大北均さんが出席されました。

上湧別庁舎応接室



町長は「今回いただきましたご寄附は、ご意向に沿うよう有効活用させていただきます」と感謝を述べました

上湧別学園



自然災害や防災に対する知識・意識が向上する一日になりました

9/  
1・9

## 災害への備えを体験 1日防災学校

上湧別学園、ゆうべつ学園で「1日防災学校」が開催されました。

網走地方気象台や、北海道開発局、役場職員などが講師となり、全校生徒が自然災害や防災について1日を通して体験。津波や洪水の映像を見たり、段ボールベッドを組み立て、新聞紙でスリッパを作ったりして、災害が発生した時のイメージをふくらませました。

体験した児童は、「ちょっと暑いけど、段ボールベッドの寝心地が良かった」と話しました。

武道館



終始和やかな雰囲気で、充実した時間となりました

9/  
10

## 湧別で交流深める 合気道 木下道場と合同稽古

町内で合気道の合宿を行っていた木下道場（東京都）と、オホーツク中湧別道場の合同稽古が行われました。

今回の合同稽古は、全日本合気道連盟の理事長を務める湧別町出身の尾崎聰さんのご尽力により実現したものです。木下道場からは、木下悦子師範はじめ、有段者6人が参加。中湧別道場は、義務教育学校1年生から大人まで、幅広い世代の参加者が集まりました。木下道場の皆さんは長年の経験を生かして優しくアドバイスを行い、参加者たちは熱心に稽古に取り組みました。



9/  
6-13

体を動かす習慣をつけよう  
ゆうべつアクティブチャレンジ2025

モルック大会



元気まつり2025



スポーツや健康づくりなど、15分以上体を動かすことに挑戦する住民参加型のスポーツイベントとして1週間にわたり開催した「ゆうべつアクティブチャレンジ2025」。期間中さまざまなイベントが行われ、延べ6300人を超える方が参加しました。

今後も運動を行い、日ごろから健康的な体づくりを心がけましょう！

パークゴルフ大会



町民ラジオ体操



ゆうべつ五鹿山マラソン2025



文化センターTOM



今年度の生涯学習講座「湧別町民大学」は、全5回の講演が行われます

文化センターさざ波



参加者に今後の支え合い活動のヒントを提供するものとなりました

9/  
16

お金は生きているうちに使いましょう  
湧別町民大学が開講

今年で49年目を迎えた湧別町民大学が開講しました。第1回目の講座では、経済ジャーナリストの荻原博子さんを講師にお招きし、「今からでも間に合う、明るい老後」と題した講演が行われ、町内外からおよそ130人が参加。

講演では、老後の資金に対する共通の不安である、介護と医療にかかる費用のことや、食品ロスの削減にもつながる節約術などが紹介され、受講者たちは熱心に耳を傾けていました。

9/  
16

みんなでつながり優しいまちへ  
地域の支え合い活動を考える学習会

湧別町生活支援体制整備事業を受託している社会福祉協議会が主催する「地域の支え合い活動を考える学習会」が開催され、85人が参加しました。

講師には湧別町出身で、NPO法人ホームヘルパー・ア理事長であり日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう代表などを務めている澤出桃姫子さんをお招きし、「支え合い・助け合いで安心して暮らせる地域力」をテーマに講演が行なわれました。

9/  
18

## 地域防災活動に尽力 服部義和さんに町感謝状贈呈

令和7年4月末で消防団を退団された、服部義和さんに、長年にわたり消防団幹部として消防活動にご尽力いただいた功績を称え、刈田町長から感謝状が贈呈されました。

副団長 服部 義和さん [消防団員歴45年 9カ月]

上湧別庁舎応接室



長年にわたる消防団活動ありがとうございました。

9/  
17-19

## 湧別の地でフィールドワーク 小樽商科大学の学生が来町

包括連携協定を締結している小樽商科大学の江頭副学長とゼミ生16人が湧別町の食のマーケティングや観光資源を調査するため来町しました。

滞在中、地域通貨に関する湧別高校生との合同ゼミ活動や地元事業者へのインタビュー、湧別の食材を使った湧別バーベキューの開発などを行いました。

最終日は町長を表敬訪問され、3日間で気づいた湧別の良さや学んだこと、今後の目標などについて学生の代表者が抱負や感想を述べ、町長との交流のひと時を過ごしました。

9/  
25

## 宿泊交流施設 Yura Yubetsu 湧別高校生向け学生寮が完成

湧別高校の入学者を確保するため、道外などからの入学者を受け入れる学生寮が完成しました。

この学生寮は、湧別高校の卒業生で東京都在住の長谷川芳博さんが建設され、町へご寄贈いただきました。

建設場所は中湧別中町の老人憩の家南側の町有地、木造2階建て全18室で、名称は長谷川さんのご令嬢のお名前「優良」をいただき、「宿泊交流施設 Yura Yubetsu (ゆら ゆうべつ)」としました。

湧別高校は、少子化の影響や進学先の選択肢の広がりなどによって入学者が減少しており、1学年2間口を確保するため、高校魅力化や存続対策事業に取り組んでいます。

令和6年度の生徒募集から、全国から学生を募集する「地域みらい留学」に参画しており、今夏に行った東京都などの全国募集の説明会においても、新築の学生寮に対する反響が大きく、進学希望者の増加が期待されています。

今後は、備品の整備など令和8年4月からの学生を迎える準備を進めます。

上湧別コミュニティセンター



包括連携協定を締結している小樽商科大学



外観



内装



8月3日（日）

◆屯田七夕まつりでのできごと◆

屯田兵の行進はいつですか？

～本州からの来町者～

8月3日 屯田七夕まつりで会場内を歩いていた時に、「屯田兵の行進はいつですか？」と私（刈田町長）に尋ねてこられた方がいました。すでに行進の時間が過ぎていたので、「もう、終わりましたよ」とお伝えすると、とても残念そうな様子でした。

しかし、屯田会の方が屯田兵の衣装を着たまま残っていらっしゃったので、一緒に記念撮影をすることはできたのでした。この方は名古屋から先祖を訪ねて来られた神田真理子さん。神田さんの祖父は湧別屯田兵として5の3に入植した稻垣治郎吉さん、祖母は4の3に入植した服部金作の妹だった服部かまさんだったそうです。

約2時間後、神田さんは再び私のところを訪ねてくれました。息をはずませて、ふるさと館JRYで肖像画を見たこと、先祖の入植地を見たことなどをお話しいただきました。この方は祖父母と生前に会うことはなく写真でしか見たことがなかったそうですが、湧別にくることで、祖父母が30年暮らした年月を感じることができたそうです。

さて、神田さんのように先祖が湧別に住んでいた関わりのある人は何人いるのでしょうか。残念ながらそのような統計データはないので人数はわかりません。しかし、札幌や東京には湧別会がありますし、先日は湧別からブラジルに移住された方も来町されています。また、ふるさと館JRYには、本州から先祖を訪ねてくる方が毎年数名はいらっしゃるそうです。ですから、湧別と関わりのある方はかなりの数になりそうです。

どうやら、湧別は私たち7,841人だけの故郷ではなく、もっと多くの人にとっての故郷なのでしょう。神田さんもその一人となりました。湧別を守り続けることの重要性を実感しました。



各種大会で活躍

◆第70回北海道吹奏楽コンクール

(8/28:札幌市)

湧別高校吹奏楽部 **銀賞**



◆文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野球大会

ENEOSトーナメント 北海道少年軟式野球選抜選手権

大会名鉄観光トーナメント 北・北海道大会

(9/13~15:遠軽町・湧別町)

湧別佐呂間合同野球チーム **出場**



◆第78回北海道高等学校ラグビーフットボール  
南・北選手権大会兼

第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会  
北海道予選会

(9/19:北見市)

湧別高校ラグビー部 **出場**

